

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	目安箱	自転車王国とくしまについて	<p>和歌山県は堤防上を自転車道として整備して非常に走りやすく、途中の飲食店等に立ち寄りやすい工夫をしている。奈良県は、案内看板を随所に設置しており、非常にわかりやすい。徳島県も、池田まで吉野川の堤防の道を整備してくれば、関西方面から人が来やすいと思う。</p> <p>徳島県は自然豊かで見所が多いのだから、サイクルラックの貸し出しで飲食店と連動したり、自転車が走りやすい道路や案内看板を整備したりして、通年、観光客を呼べるようにしてほしい。</p>	<p>県内のサイクリングコースの整備や維持管理につきましては、令和2年度から、新たに吉野川市の吉野川堤防周辺で、学生や自転車愛好家、有識者等と試走を行い、ワークショップ形式で魅力アップの方策などを検討したほか、「鳴門徳島自転車道」や吉野川沿いのルートで、サイクリング部に所属する学生等のサイクリストの目線による「路面の損傷や雑草の繁茂等による危険箇所」や「案内標識の不備や老朽化等による迷いやすい箇所」、「ビューポイント」等に関する調査を進めています。</p> <p>今後は、この調査結果等を基に、標識や路面標示(自転車マーク、ピクト等)の設置などに関し検討を進めるとともに、県が管理する「鳴門徳島自転車道」などのサイクリングルートにおける道路パトロールの定期的な実施や、国道・市町村道・河川管理道の各管理者と情報共有を行うことで、サイクリストの皆さまが安全で快適に通行できるように努めて参ります。</p> <p>また、上記自転車道とは別に設定している「自転車王国とくしま公式コース」の設定にあたっては、複数回にわたり現地実走による事前調査を行い、見所や走行の楽しさ、安全性や利便性等を勘案して決定しております。</p> <p>さらに、このコースの魅力を活かして、県内外からのサイクリストの誘引を促進するため、平成30年度には、観光向けの「Go aroundコース」を設定し、その魅力を紹介するPRムービーや県の観光アプリと連携したサイクリングアプリ「自転車旅プラス」を制作して、情報発信やサイクリストの利便性の向上にも取り組んでいます。</p> <p>今後も、いただいた御意見を参考にしながら、令和元年12月に策定した「徳島県自転車活用推進計画」に基づき、安全・快適に通行可能な自転車通行空間の確保やサイクリストの受け入れ環境の充実、地域振興に活用していくための取組みを進め、本県におけるサイクルツーリズムを積極的に推進して参ります。</p>	未来県土

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
2	目安箱	起業について	<p>起業のアイデアがあるが、事務所として使用する部屋を借りるのにお金がかかる。</p> <p>現在、空き店舗や空き事務所がたくさん見受けられるが、これらを県庁などが借り上げて、起業する者に無償で貸与する制度があったら、ありがたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、閉店する店や事業が多い中、新しく立ち上げていこうという起業家を応援する制度をお願いしたい。</p>	<p>本県において、新たな分野への挑戦や、起業・創業を行う意欲的な創業者を支援することは、地域経済の新たな担い手として、地域活性化を図るために、大変重要と考えております。</p> <p>そこで、本県では、公益財団法人とくしま産業振興機構を中心に、金融機関や商工団体と連携し、優れた創業計画を、業種や規模にかかわらず、あったかビジネスとして県が認定し、関係機関と連携した各種支援を行う、「創業促進・あったかビジネス支援事業」を実施し、創業の奨励や成功率の向上を図っております。</p> <p>具体的支援策といたしましては、創業支援専門家による窓口相談のほか、ビジネスプランの策定支援からフォローアップ、さらには、県融資制度による資金調達支援を行っており、加えて、施設支援といたしまして、無償ではありませんが、徳島県健康科学総合センターの貸室料の優遇制度を設けており、スタートアップ期にある創業者支援を図っております。</p> <p>また、あったかビジネス認定を受けた方が開発した新商品を県が率先購入する「お試し発注制度」や起業を目指す皆様に対して、創業段階の様々なステージに応じた研修等を年間を通して実施するなど、きめ細やかな支援策をご用意いたしておりますので、是非ご活用ください。</p> <p>とくしま産業振興機構のホームページでは、こうした創業支援や経営支援に関するポータルサイトとして、各種支援施策を掲載しておりますので、是非ご確認ください。</p> <p>今後とも、関係機関と連携いたしまして、徳島での起業を目指される方々を支援して参ります。</p>	商工
3	目安箱	徳島市末広地区の開発について	<p>末広地区にある徳島県の倉庫群を開発し、人が集まれるエリアとして再整備してはどうか。</p> <p>末広・沖洲周辺は、徳島南部自動車道開通で、今まで以上に広範囲からの集客が可能となる極めて将来性の高いエリアである。県としてもこれらのエリアに投資を行うことで、高速道路の開通効果をさらに高めていくべきだと思う。</p>	<p>徳島小松島港「末広地区」の県有倉庫群は、港湾関係事業者を活用され、物流機能を支える重要な役割を果たしております。</p> <p>一方、「末広地区」周辺では、釣り堀や観光食堂など「にぎわい拠点」を備えた「マリンピア沖洲」があり、「徳島南部自動車道・徳島沖洲IC」により、さらなる交流が生まれることが期待されています。</p> <p>また、対岸の「万代中央地区」では、徳島市中心部の水辺に位置する「レトロで趣ある倉庫群」を活かし、13棟（延べ17事業者）の倉庫群が、カフェや書店に活用されるなど、「物流機能」から「にぎわい空間」への転換が着実に図られているところであり、「末広地区」周辺を含め、「港のにぎわい創出」にしっかりと取り組んで参ります。</p>	県土

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
4	目安箱	テイクアウトの容器持参について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、テイクアウトが増え、それによりゴミが増えてしまうことが気になる。他市では容器を持参した方にクーポンを配っているそうなので、徳島もごみを減らすためにそのような取り組みを行なってほしい。お店も容器代がいらなし、自治体もごみの処理費が削減でき、環境にもいいと思う。</p>	<p>環境にやさしい様々な活動を行っている県内の小売店・事業所・団体等を、知事が「エコショップ」として認定する制度により、簡易包装やトレイ等を使わない販売を推進しております。</p> <p>また、「とくしま環境県民会議」、「徳島県消費者協会」とともに、県内の食品スーパーや産直市などの「19事業者」と「レジ袋削減等に関する協定」を締結したことを契機に、引き続きマイバッグ持参の普及啓発を推進しています。</p> <p>さらに、関係団体と共同で「プラごみゼロ」とくしまスマート宣言を行い、「県民総ぐるみ」での啓発活動を推進します。</p> <p>「プラスチックごみ」の削減については、マイボトルをはじめとした持ち帰り容器の持参など、お一人おひとりが出来ることから行動していただくことが重要であることから、「プラスチックごみ問題」の解決へ向け、消費者と事業者双方の御理解と御協力を頂けるよう、引き続き普及啓発に努めて参ります。</p>	危機
5	目安箱	工芸、芸術面に特化した街づくり、人材育成について	<p>工芸、芸術面について、次世代の人材育成として、幼少期から絵画、工作に関する教室を県全体で等しく受けることができる体制、小中学校での授業の強化、芸大を狙えるような専門性の高い学校を設立してはどうか。</p> <p>また、アニメ会社やそのサテライトオフィスを誘致したり、車に乗ったまま野外で映画を見るような、アフターコロナにも対応した施設を整備したり、色んな工芸作家が発表できる場を設けたりすると思う。</p>	<p>徳島県では、子どもたちに質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するため、文化庁の事業を活用し、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による実演芸術の公演を行うとともに、子どもたちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげるため、小学校・中学校等に芸術家を派遣し、芸術家による計画的・継続的なワークショップ等を実施しております。</p> <p>県内で唯一の芸術科（音楽・美術・書道）を有する名西高等学校を、平成27年7月に「文化芸術リーディングハイスクール」に指定し、文化芸術の人材育成の根拠校として、文化芸術の魅力を地域に発信し、文化芸術の力で地域や県内高校を牽引することを目指して取り組んでおります。</p> <p>誘致については、豊かな自然環境と全国屈指の光ブロードバンド環境を活用した「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」を実施しております。これまで映像制作会社をはじめとする様々な業種の多数の企業が徳島県にサテライトオフィスを設置しており、全国トップクラスの進出企業数となっております。これからも徳島県の魅力を発信することで、更なるサテライトオフィスの集積に取り組んで参ります。</p> <p>また、県では、「徳島文化芸術ホール（仮称）」の早期開館に向けて取り組んでおり、令和8年度の開館を目指す新ホールでは、野外に向けた映像発信のほか、美術展も開催できるオープンスペースなども整備計画に盛り込み、舞台芸術のみならず、様々なジャンルの発表・鑑賞の場とすることで、将来の文化芸術を担う人材育成を図ることとしております。</p> <p>さらに、駅前中心市街地に機能移転する青少年センターには、eスポーツやアニメのイベント開催や活動発表の場となるスペースを整備する予定であり、今後も引き続き、文化芸術を生かした街づくりを進めて参ります。</p>	未来政策教育

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
6	目安箱	ターンテーブルのマルシェについて	<p>「ターンテーブル」の「マルシェ」で新たな取組を始めたとのことだが、他の農業先進県では品質や見せ方などでしのぎを削っている。徳島県産農産物もパッケージを統一し、大手量販店の棚と同じデザインとしてみてはどうか。また、ターンテーブルを「阿波ふうど」デザイン情報発信基地とし、そのためには口コミが大切なので、東京近辺在住の県出身者の会や関係団体へメール等での案内を行ってはどうか。</p>	<p>首都圏における徳島の情報発信・交流拠点「ターンテーブル」では、県産食材の良さを引き出す料理の提供や旬の食材をテーマとするメニューフェアの開催、徳島をテーマとする多彩なイベントの展開等を実施し、開設以来、多くの方にご利用いただき（令和元年度約3万4千人）、徳島の魅力を体感いただいています。</p> <p>令和3年2月には、徳島から直送された野菜をはじめとする県産食材を首都圏にお届けする「産直マルシェ」をリニューアルし、「阿波ふうど」のロゴマーク入りパッケージの活用やのぼりの掲示など、「徳島」を印象づける効果的な情報発信を実施しています。</p> <p>この「阿波ふうど」ロゴマークについては、ターンテーブルだけではなく、県内外での商談会などのイベントでの活用や、県内生産者団体の出荷物の包装に使用頂くなど、「徳島の食」の一体的な魅力発信に活用しているところです。</p> <p>今後とも、ターンテーブルの近隣にお住まいの方はもとより、「県産食材のショールーム」として周辺の飲食店への販路を積極的に展開し、「阿波ふうど」のブランド力強化を図って参ります。</p> <p>また、実際に徳島の食を体感いただいた利用者の皆様からの口コミ等による情報発信も効果的であるため、東京近郊在住の県人会や県関連企業、県出身者など県ゆかりの方々に加え、県出身学生など、人的ネットワークを最大限活かし、メルマガ等により情報を積極的な発信を実施しているところです。</p> <p>更に、各種会合やイベント等、様々な場面を活用し、「産直マルシェ」をはじめとする「ターンテーブル」の情報を継続的に伝えることにより、ターンテーブルを核とした県産品の魅力発信と販売拡大に繋げて参ります。</p>	政策 農林
7	目安箱	プラごみゼロ宣言について	<p>県が「プラごみゼロ」宣言を発表したことは評価すべきであり、今回の宣言が環境問題全体に広がることを期待する。</p> <p>市民団体が資源循環型廃棄物処理の処理センターの設置を県に要望との報道があったが、すばらしい提案だと思う。ゴミ処理施設については再処理施設と連携し、施設の熱利用により、温泉施設等を設け、県民に広く利用されてほしい。</p> <p>県は、自然が一つの財産ではないか。自然が財産となるとゴミ問題の解決は欠かせない。</p>	<p>「プラスチックごみ問題」の解決へ向け、関係団体と共同で「プラごみゼロ」とくしまスマート宣言」を行い、引き続き「県民総ぐるみ」での普及啓発活動を推進して参ります。</p> <p>また、県として、市町村が行うごみ焼却で発生する熱利用を始め、地域における廃棄物エネルギーの利活用等による「循環型社会形成の推進」及び「地球温暖化対策の強化」が図られるよう、処理施設の整備に係る国交付金活用のサポートや必要な情報提供等を通じて、引き続き技術的助言に努めて参ります。</p>	危機

県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」への対応方針等

番号	提言先	項目	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
8	目安箱	自ら考えて行動できる子どもたちの育成について	<p>自ら考えて行動できる子どもたちを育てるために、「小・中学生が運営する会社」を作ってほしい。</p> <p>どうやって利益を出すか、お金の流れや人との関わりの大切さ、交渉の仕方等、社会や経済の仕組みをリアルに体験することで、自ら考え動く子どもたちを育成できるのではないかと。また、今学校で学んでいる勉強ももっと面白くなるのではないかと。思う。</p>	<p>「自ら考えて行動できる子どもの育成」は、新学習指導要領のキーワードのひとつでもあり、大切な視点であると認識しております。</p> <p>また、新学習指導要領の前文に、「キャリア教育の推進」が明文化され、すべての教育活動の中で、キャリア形成の視点を重視した教育活動が展開されています。県教育委員会におきましても、「学校におけるキャリア教育を支援するための講演・出前授業」、「県内企業見学バスツアー」、「大学生等によるキャリアガイダンス」等、子どもたちのキャリア教育を支援する様々な取組を実施しております。</p> <p>令和元年度から、「100年先を創る起業家育成事業」を実施しており、予測困難な時代を主体的に考え、生き抜く力を育成するとともに、一人一人の社会的・職業的自立に向けた能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るキャリア教育の一環として、地元商店街や企業、NPO法人等の団体など多様な主体と連携し、「起業家精神」や「起業家的資質・能力」を身に付けさせるための起業体験活動について調査研究を行い、その成果等を広く普及しています。</p> <p>今後も、本事業を充実させ、「自ら考え行動できる子どもたちの育成」に向け、取り組んで参ります。</p>	教育
9	目安箱	Go Toキャンペーンについて	<p>「Go To キャンペーン」制度が動きだそうとしているが、残念ながら徳島県は宿泊者数が最低の県である。実際、観光客としてカウントされている多くは帰省客だと思うので、徳島に帰省した場合に現金の補助や同窓会を開催した場合に補助など、「Go To キャンペーン」と合わせ帰省客を呼び込む施策を同時に行ってはどうか。</p>	<p>本県では、国内旅行の需要喚起策として、国において実施されている「GoToトラベル」に合わせたタイアップ事業を実施いたしました。</p> <p>タイアップ事業は、徳島への誘客を促進するため、8月1日から、「GoToトラベル」を利用して徳島県内に宿泊された方、1人につき5,000円のクーポン券「徳島で得するケン（券）」を提供するものです。主に「お土産の購入」「観光施設への入場」、「レンタカー・タクシーの利用」等を対象とし、観光客の方はもとより、徳島に帰省される方々も含め、県内観光や交通の幅広い場面でご利用いただきました。</p> <p>今後とも多くの皆様に徳島にお越しいただき、徳島の魅力を体感していただけるような情報発信及び「新しい生活様式（スマートライフ）」の浸透を図りつつ、県内の観光需要の早期回復と「本県ならではの」誘客促進にしっかりと取り組んで参ります。</p>	商工